

サテライトつちうら 第2弾

茨城県霞ヶ浦環境科学センター 夏まつり

～「流域連携市民会議」の成果報告～

サテライトつちうら第2弾

認定 NPO 法人宍塚の自然と歴史の会

サテライトつちうら第2弾として、霞ヶ浦流域連携市民会議&クイズ大会「ココにあります★霞ヶ浦のミライーこれからの霞ヶ浦の流域を知ろう、語ろう、考えようー」が、8月25日(土)茨城県霞ヶ浦環境科学センターにおいて、宍塚の自然と歴史の会が企画を担当のもと開催されました。

クイズ大会



イベントは終日通してのクイズ大会と午後から行われる流域市民連携会議の2本立てで行われました。クイズ大会は参加者に問題用紙を配布、ブースに掲示されたパネルを見ながら回答してもらい、採点后、参加賞と正解賞、各団体が用意した賞品の抽選券を配布していきましました。用意した問題とそれに関するパネルは5つで、霞ヶ浦に関するもの一題と午後の会議で発表する4団体に関するものが各一題と、午後の会議と連動したストーリー性のあるものでした。イベント開始は午前10時か



らでしたが、その前から参加者が集まり出し、10時には大変な人だかりとなり、スタッフは休む間もないくらいの大盛況でした。お昼前には、用意した500枚の問題用紙がなくなり急遽100枚増刷しました。宍塚の紹介パネルやクイズ用紙、チラシなどの多くは石井美穂さんの力作でした。

霞ヶ浦流域連携市民会議



午後1時からはいよいよ流域連携市民会議が開催されました。阿部きよ子さんの司会のもと、サテライトつちうらの主催者である土浦市の五頭副市長、当日の霞ヶ浦環境科学センター夏まつり主催の福島センター長、当会議の企画者として及川さんの挨拶で開会しました。

特別講演および講演

最初前霞ヶ浦環境科学センター長の相崎守弘島根大学名誉教授から、霞ヶ浦の変遷から現在の状況、将来目指すべき方向性を分かりやすくご説明頂きました。治水のため昭和38年に常陸川水門が設置され、工業用水利用のため昭和45年に堤防が設置されたことにより、昭和50年には霞ヶ浦が完全閉鎖され、霞ヶ浦の漁業、周辺の農業が大きく変わってきたことがよくわかりました。また、その結果、水質の変動も激しく最も汚れていた50年代にもっとも漁獲量が高く、ある程度対策がとられ改善してきた現在のほうが、漁業資源の確保が難しい状況になっていることも理解されました。



続いて流域で活動する各団体の発表が続きました。まず、JA 土浦蓮根本部会の大竹剛氏から蓮根の成育に合わせた肥効調節型肥料の導入で霞ヶ浦への負荷を減らす蓮根栽培についての取り組みが紹介されました。

霞ヶ浦漁業協同組合の齋藤忠成氏からは漁獲量の低下に歯止めをかける対策の一つとして省力化を上げ、一例としてワカサギの人工ふ化事業に、手間を掛けず、魚体も傷付けない新しい方法の導入が紹介されました。

石岡市森林カーボンオフセット協議会の松浦晃氏からは間伐で得た二酸化炭素排出権を企業などに購入してもらうカーボンオフセットの紹介がありました。また森林を守ることによって 100 年後の子ども達に、森林だけではなく、流域の農業・水産業も残せるとのお話が印象に残りました。

次に土浦市宍塚における里山保全活動について、森本信生氏が発表しました。宍塚の里山の植生の紹介では、様々な植生がモザイク状に広がり、宍塚の里山が多くの生き物を育む場所となっている理由が実感できました。その宍塚の里山の将来について、土浦市の計画では緑地としての維持と、つくば研究学園都市に隣接する立地から市街地整備の両論が併記されていることを上げ、いまの緑豊かで多様な生き物を育む宍塚の里山が続くことの意義が多くのひとに伝わったと思います。また会の様々な活動が紹介され、それらの活動が結びついて宍塚の里山の保全活動が成り立っていることが良く分かりました。さらに霞ヶ浦を守るには、流域での視点で考えなければいけないことを宍塚大池の水が農業水路から備前川と流れ、最終的に霞ヶ浦に流れていくことを例にあげて説明されました。

続いて宍塚の里山で活動を行っている法政大学キャンパスエコロジーフォーラム里山班の矢澤優季さんと鈴木一歩さんが、キャンエコの活動を紹介しました。なぜ15年も活動が継続しているのか、やりがいや活動を通じて感じていることを例に、分かりやすく紹介して下さいました。とくに都心から土浦までの旅費の負担は学生にとって軽くなく、回数券の購入で負担を軽減することを考えた例や、宍塚の里山での活動が職業選択の決め手になった例も紹介され、若者たちの里山保全への強い想いに頼もしくなりました。

パネルディスカッション



全発表が終わった後、休憩をはさんでパネルディスカッションが行われました。相崎先生をコーディネーターに、各発表者がパネラーとなり行われました。聴衆者からの質問もここで行われました。各パネラーは聴衆者からの様々な質問に丁寧に答えていました。

パネルディスカッションの最後に相崎先生から、今回の会議の主題である流域のネットワークやその未来についてパネラーの方々にそれぞれの考えを語ってほしいと提案がありました。漁業者の齋藤氏は、いつまでも豊かな漁場であるように、禁漁区の周知やごみの回収を行っていききたいそうです。蓮根農業者の大竹氏からは、緩効性肥料や止水板の使用で霞ヶ浦に負荷をかけない栽培と鳥との共存も考えたいとのことでした。森林保全の松浦氏からは霞ヶ浦の良さをたくさんの人に知ってもらうために水源としての山林の中で持続的な活動をしたいとのことでした。当会の森本さんは宍塚大池も霞ヶ浦の水源の一つで、その宍塚の里山での活動を通して、場所への愛着・興味生まれ、どこへ水が流れていくかを考えるようになり、霞ヶ浦やそこで捕れる魚や



その周りで栽培されている蓮根などへも興味が広がって
いくのではないかとのことでした。キャンエコの矢澤さん
からは、宍塚の活動を通して霞ヶ浦の役に立てるような
活動を行い、その活動を通して学んだ知識を様々な場
所で応用できるようにしたい、鈴木さんからは環境保全
には時間が掛かると聞いているので、子どもや学生など
若い世代に環境保全の大切さを知ってもらうことが重要
で、大学生の自分も次の世代へ継承していきたいとのこ

認定 NPO(特定非営利活動)法人, 理事長 及川 ひろみ, 事務所: 〒305-0023 茨城県つくば市上ノ室 292 番地5
Tel 029-857-1555, e-mail: sisitsuka@muf.biglobe.ne.jp, <http://www.kasumigaura.net/ooike/>

■ 事前広報
チラシ表

第17回世界湖沼会議 サテライトつちうら第2弾
霞ヶ浦環境科学センター 夏まつり会場にて

霞ヶ浦 流域連携市民会議 & クイズ大会 参加者募集

ココにあります★霞ヶ浦のミライ
—これからの霞ヶ浦とその流域を知ろう、語ろう、考えよう—

クイズ大会では、クリアファイルなどの参加賞。クイズに正解すると、
里山工芸品、絵葉書セット、霞ヶ浦にちなんだお菓子などをいずれか
プレゼント。抽選で特別賞もあります。(先着順、数に限りがあります)

開催日時 平成30年8月25日(土) 10:00~15:30
開催場所 茨城県霞ヶ浦環境科学センター 屋外・1F多目的ホール
主管: 第17回世界湖沼会議サテライトつちうら実行委員会
企画: 認定NPO法人宍塚の自然と歴史の会

この事業は以下の助成を受けています。
公益財団法人河川財団・河川基金
公益信託「エコーいばらぎ」環境保全基金
いばらぎコープ環境基金
公益財団法人本田記念財団

河川基金

とでした。

最後に各団体から提供頂いた特別賞の抽選引き換
えがなかった分を会議出席者に佐々木さんの掛け声の
もと、大じゃんけん大会が行われて配布しました。

参加者数・総括

クイズ大会に 560 名、流域連携市民会議に 140 名も
の参加がありました。また 45 名以上の方々がスタッフと
して参加し、当日のイベントを成功に導きました。

私も霞ヶ浦に関する勉強会やシンポジウムなどには
多く参加しましたが、今回のような流域に視点を置いた
会議は初めてでした。ぜひ、第17回世界湖沼会議が終
わったあとも、このような取り組みが継続して、霞ヶ浦を
考えるときはまず流域目線で考えることが当たり前にな
ることを願いたいと思います。

文責 福井正人

チラシ裏

第17回世界湖沼会議 サテライトつちうら第2弾
流域連携市民会議
—市民が考える湖沼と流域—
Program

入場無料 参加申込不要
ご家族・ご友人
お誘い合わせの上
ご来場ください

ココにあります★霞ヶ浦のミライ
—これからの霞ヶ浦とその流域を知ろう、語ろう、考えよう—

霞ヶ浦とその流域の漁業、農業、林業従事者、里山保全のNPO、
大学生が、霞ヶ浦の魅力、保全と未来を語り、霞ヶ浦の将来を
みんなで考えます。

13:00 開会
13:10 企画者挨拶 認定NPO法人宍塚の自然と歴史の会 及川ひろみ氏
13:15 特別講演 「霞ヶ浦について」
島根大学名誉教授・前茨城県霞ヶ浦環境科学センター長 相崎守弘氏
13:40 漁業者 齋藤忠成氏
13:50 JA土浦蓮根本部会 大竹剛氏
14:00 石岡市森林カーボンオフセット協議会 松浦晃氏
14:10 認定NPO法人宍塚の自然と歴史の会 森本信生氏
14:20 法政大学キャンパスエコロジーフォーラム 矢澤優季氏・鈴木一歩氏
14:30 休憩 クイズ大会特別賞抽選結果揭示
14:40 パネルディスカッション
15:30 終了

クイズ大会
8月25日10:00から
屋外スペースにて実施
※答え合わせは、12:30以降、
屋外スペースから多目的ホール
に変更となります。

2018. 8.25 [土]
開演/13:00(開場/12:30)
会場/霞ヶ浦環境科学センター
多目的ホール

交通機関/JR土浦駅東口から無料シャトルバス乗車約20分
※無料シャトルバス運行表、臨時駐車場については霞ヶ浦環境科学センター
ホームページ内、夏まつりページにてご確認ください。
主管 第17回世界湖沼会議サテライトつちうら実行委員会
企画 認定NPO法人宍塚の自然と歴史の会
問い合わせ先:
認定NPO法人宍塚の自然と歴史の会
〒305-0023 茨城県つくば市上ノ室292番地5
Tel 029-857-1555 e-mail: sisitsuka@muf.biglobe.ne.jp

予告
第17回世界湖沼会議
サテライトつちうら
第3弾・メイン大会も
下記の日程で予定されています。
10月13日(土)
土浦駅・土浦港周辺にて

クイズ大会 提示資料

ヒントパネル1 霞ヶ浦について

クイズ大会 ヒントパネル1

霞ヶ浦について

霞ヶ浦(かすみがうら)のあらまし

①所在地	茨城県
②面積	168.22 km ²
③水深の深さ	0.16 m
④水深	11.9 m
⑤平均水深	3.4 m
⑥透明度	0.6 m
⑦湖岸線の延長	119.50 km
⑧成因	海跡湖

霞ヶ浦は、日本では滋賀県にある琵琶湖(びわこ)について、二番目に広い湖で、岸(かし)のながさは、日本で一番ながいです。

霞ヶ浦の歴史(海の時代)

12万年前の関東地方は、古東京海の海の底でした。その後10万年頃から氷河期になり、海の水が引き関東平野が現れ、6500年前になると温暖化により海が陸の水が上昇して割れた谷に海水が入り込んで霞ヶ浦の原型ができました。

霞ヶ浦に流れこむ川

霞ヶ浦流域は、山が少なく平地からの川が54本も流れこんでいます。そのため水質が汚れる原因にもなっています。

霞ヶ浦の底のかたち

霞ヶ浦は、深(ふか)いところではメートル、平均の深さは約4メートルの深(ふか)い(あらい)湖です。

国内の湖沼

湖沼名	深さ (m)
琵琶湖	104.1
霞ヶ浦	11.9
東京湾	24.2
瀬田川	10.0
阿蘇湖	9.0
諏訪湖	8.0
千鶴湖	7.0
西の湖	6.0
東の湖	5.0
田沼湖	4.0
沼津湖	3.0
加賀湖	2.0
大野湖	1.0
小野湖	0.5
阿波湖	0.2

第17回世界湖沼会議 サテライトつちうら第2課 クイズ大会 完成の自然と歴史の会作成資料

ヒントパネル2 石岡紹介パネル

クイズ大会 ヒントパネル2

森林(しんりん)について

霞ヶ浦のまわりの森林の割合

茨城県の森林率は、約8割以上ですが、霞ヶ浦周辺だけは約5割の森林率です。

霞ヶ浦集水域	2,156 km ²
森林率	18%
全国の森林率	67%
茨城県森林率	31%

外国産(がいこくさん)の木材(もくざい)をつかう割合

日本全国でつかう木材のうち、約3割は外国産で、日本でつくられているのは、約1割です。

全国的森林率(しんりんりつ)

世界の森林率との比較

順位	国名	面積 (万km ²)	森林率 (%)	総面積 (万km ²)
1	フィンランド	731	72.8	531.1
2	日本	378	67.0	563.6
3	カナダ	998	33.0	3023.0
4	韓国	100	63.7	158.4
5	スウェーデン	450	69.0	652.1
6	オーストラリア	774	17.0	4548.0
7	ロシア	4000	6.5	24000.0
8	中国	960	1.9	50000.0
9	アメリカ	3700	33.0	11100.0
10	ニュージーランド	270	29.0	930.0

森林を手入れすることによるたくさんの役わり

森林は木材となる木を育てることで、水をため、土砂くずれをふせぎ、酸素(さんそ)をつくりだした、人のいそぎをそだて、人々に役立つ役わりがはたしています。

間伐と多目的機能

間伐: 木材生産の効率化、CO2削減、森林の健全性の維持

森を大事にするということ

水をため、地面に貯水する力

第17回世界湖沼会議 サテライトつちうら第2課 クイズ大会 作成: 認定NPO法人霞の自然と歴史の会

ヒントパネル3 穴塚紹介パネル

クイズ大会 ヒントパネル3

穴塚(ししつか)の里山(さとやま)について

穴塚の里山はどこにある?

約100ヘクタールほどの面積があり、亀城公園(かめしろこうえん)の30倍くらいの広さで、関東平野で最大級(さいだい)といえる穴塚の里山です。

いそものの豊かさ

日本全国の4分の1以上の種類のチョウを始め、たくさんの種類のいそものがすんでいます。

里山をまわるさまざまな活動

1989年に金が発見してから、里山の環境を生かして、環境教育、保全活動などを活発に行っています。子どもから高齢者まで、たくさんの人たちがこの里山でいろいろな活動をしています。

穴塚の里山(絵地図)〜大昔の人びとのくらし

池、小川、畑、田んぼ、林、湿地、などいろいろな場所があります。昔(むかし)のくらしのあつ(と)道(みち)い(せき)は、粟(あは)半(はん)丸(まる)昔(むかし)のくらし(か)は(か)古(ふる)頃(ころ)です。

第17回世界湖沼会議 サテライトつちうら第2課 クイズ大会 作成: 認定NPO法人穴塚の自然と歴史の会

ヒントパネル4 霞ヶ浦・北浦の漁業について

クイズ大会 ヒントパネル4

霞ヶ浦・北浦の漁業について

おもな魚(さかな)のとる量(りょう)の変化

ワカサギの卵(たまご)を人工(にんご)ふ化(ひか)させるようす

魚をとる方法

おもに網(あみ)をひいて、魚やエビをとる

種類(しゅるい)ごとのとる量(りょう)の果(は)れ(は)り(け)比較(ひかく)

種類	とる量 (kg)
ワカサギ	300
フナ	150
アサギ	100
サメ	50

釣(つ)ったり、とつたりしてはいけない時期(じき)・大きさ

魚種	解禁時期	解禁サイズ
ワカサギ	3月1日〜3月31日	全長15cm以下
フナ	4月1日〜4月30日	全長10cm以下
アサギ	4月1日〜4月30日	全長10cm以下
サメ	4月1日〜4月30日	全長10cm以下

第17回世界湖沼会議 サテライトつちうら第2課 クイズ大会 作成: 認定NPO法人穴塚の自然と歴史の会

クイズ大会 ヒントパネル5

れんこんについて

れんこんって?

はすの根と書いて蓮根だけだ...
じつは、はすのくき(地下茎)

本当の根はセグみたいな部分
『れんこん』は食べる部分のことをいう。

なぜれんこんには、穴があいているか

呼吸をするための空気の通り道

葉っぱから取りこんだ空気は風船(ふうせん)を通して地下茎(れんこん)におおられる。この穴はすべてつながっています。

JA土浦のれんこんについて

- 日本一のれんこん産地
- 土浦市の500ヘクタールと、かすみがうら市の350ヘクタール
- JA土浦産根本部会
- 約350名のれんこん農家で、年産約8,000トンを生産し、出荷している
- ハウス栽培もふくめ、一年中出荷できる
- 土浦市では10名のみ
- JA土浦の主要作物である

れんこん栽培(さいばい)の流れ

3月下旬から5月：種バスの植付や肥料まき
6月から7月：病気や虫を防ぐ(管理)
7月から8月：開花
7月から：収穫開始

種はすの種え付け～収穫のようす

←収穫したれんこん
収穫してすぐのれんこんには、どろりけがたがまんついている

出荷
●収穫されたれんこんは、どろりけをきれいに取り、選別して箱にいれていく。
●箱にいれたれんこんは、決まった場所にある市場に出荷される

れんこんの栄養素(えいようそ)

- ビタミンC
●ゆで前のれんこんにはレモンと同じくらい含まれている。
- ムセン
●れんこんを切った時にでてくるぬめりの成分で、主な免疫力効果は、下痢や胃腸炎の予防、ウイルスの侵入を防ぐ効果、疲労回復など。
- 今話題の健康成分
- タンニン
●緑茶にもふくまれている成分で、腸の動きをたすけてくれる。

れんこんの栄養面の特徴

	カリウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミンC (mg)	糖質 (g)
生のレンコン	440	0.6	(4)	2
ゆでたレンコン	240	0.4	13	2.9
煮たレンコン	200	0.3	5	1.1
揚げた	960	0.3	16	1.1
レモン汁	100	0.1	(60)	0
100g	170	0.3	85	1.4

その他レンコンに含まれる栄養素：ムセン、タンニンなど

第17回世界湖沼会議 サテライトつちうら第2弾 クイズ大会
作成：認定NPO法人茨城の自然と歴史の会

クイズ大会・もんだい用紙

つぎのうちまちがっているものをえらんでください。
パネルをよくみてこたえてね。
かいとうは、うら面ですてね。

Q.1 霞ヶ浦(かすみがうら)について

ア. 日本の湖(みずうみ)の中で、ひろさは2番、湖の岸(きし)のながさは1番の大きな湖です。
イ. ふかいところは100メートル以上あります。
ウ. むかしは海でした。むかしの人たちがすた海(うみ)のかいからの貝塚(かいづか)が、まわりたくさんあります。
エ. 50以上の川がながれこんでいます。

Q.2 森林(しんりん)について

ア. 木材となる木をそだてる、水をためる、土砂(どしゃ)くずれをふせぐ、酸素(さんそ)をうみだす、たくさんのいきものをそだてるなど、人々に役(やく)たつたくさんの役わりをはたしています。
イ. 日本全国の森林の国土(こくど)にしめる面積(めんせき)の割合(わりあい)は約3分の2で、世界の平均(へいきん)の2倍(ばい)もあります。
ウ. 茨城県(いばらきけん)の森林率(しんりんりつ)は3分の1以下で、全国(ぜんこく)でひくい方ですが、霞ヶ浦(かすみうら)周辺は全国(ぜんこく)の森林率(しんりんりつ)です。
エ. 日本国内でつかう木材(もくざい)のうち、約3分の2は外国産(がいこくさん)で、日本産は約3分の1です。

Q.3 穴塚(あなづか)の里山(さとやま)について

ア. 土浦市の亀城公園(きじょうこうえん)の30倍(ばい)くらいひろさがあり、関東(かんとう)平野(へい)で最大級(さいだいきゅう)の里山(さとやま)です。
イ. 日本全国の4分の1以上の種類(しゅるい)のチョウをはじめ、たくさんの種類のいきものがすんでいます。
ウ. 大昔(おほい)の人びとのくらしのあと(遺跡(いせき)やおほか(古墳(こふん)がいくつもあります。
エ. いきものいっぱい(れんこん)なので県立(けんりつ)自然公園(しぜんこうえん)となっています。

Q.4 霞ヶ浦・北浦の漁業(ぎょぎょう)について

ア. コイの養殖(ようじく)がさかんに行われており、全国一の生産量(せいさんりょう)をほこっています。
イ. 日本の川エビ(テナガエビ)のほとんどは、茨城県(霞ヶ浦・北浦)でとれています。
ウ. ワカサギの漁業(ぎょぎょう)が将来(しょうらい)も続けられるよう、卵(たまご)を人工(じんこう)ふ化(ふか)して放流(ほうりゅう)したり、漁(りょう)をする時期(じき)や時間(じかん)を決めるなどの努力(どりょく)がおこなわれています。
エ. 漁師(りょうし)さんたちは、ワカサギ、シラウオなどを、おもに釣り(つり)でとっています。

Q.5 れんこん について

ア. 田んぼに黒い(くろい)たねをまいてそだて、太く(ふとく)なった根(ね)を収穫(しゅうかく)しています。
イ. れんこんは、地下(ちか)にあるくさで、呼吸(こきゅう)のために空気(くわき)をとす穴(あな)があいています。
ウ. なまのものはレモンくらいのおおきのビタミンCがあるなど、れんこんは体によい食べ物です。
エ. 霞ヶ浦(かすみうら)のゆたかな水をつかってつくられる、土浦市(つちうら)のれんこんの生産量(せいさんりょう)は日本一です。

わかったら、かいとう欄に、まちがっているものの記号(きごう)をかいてね。

かいとう欄

Q.1	Q.2	Q.3	Q.4	Q.5
-----	-----	-----	-----	-----

第17回世界湖沼会議 サテライトつちうら第2弾 クイズ大会
作成：認定NPO法人茨城の自然と歴史の会

霞ヶ浦漁業協同組合

霞ヶ浦漁業協同組合

魚介(ぎょかい) 霞ヶ浦と

霞ヶ浦北浦は、滋賀(しが)県の琵琶湖(びわこ)に次いで日本で2番目に大きく、ワカサギ、シラウオ、エビなどの豊富な水産資源(すいさんしげん)に恵まれた湖(うみ)です。そのため、霞ヶ浦(かすみうら)北浦(きたうら)では漁業(ぎょぎょう)や養殖業(ようじくぎょう)が行われ、これらを原料(げんりょう)とした水産加工業(すいさんかくりょうぎょう)も盛ん(さか)に行われています。

釣(つり)の禁止(きんじ)期間(きかん)があります。

外来魚(がいらいぎょ)を放流(ほうりゅう)しないで!

保護(ほご)水面(すいめん)を守(まも)ろう。

ごみは拾(ひろ)って持ち帰(かへ)ろう。

JA土浦蓮根本部会

JAのPR用パネルを展示したので、講演内容を紹介します

JA土浦蓮根本部会

JA土浦蓮根本部会の大竹と申します。私はレンコン農家をやっています。レンコン農家からの露ヶ浦の未来、気を付けていること話します。

茨城県はレンコン生産量日本一です。それは露ヶ浦という大きな水面の恩恵を大変受けている。レンコンは春先に植え付けて、8月中旬の収穫が始まり、12月に収穫のピークを迎え、次年度の4月5月にもどるというサイクルで、農作物として出荷している。

一年を通じて田んぼの水として、収穫の際に大量の水を露ヶ浦から汲みとっている。収穫の際、肥沃な土が露ヶ浦に流失してしまうという問題もあるが、JA土浦として取り組みを行っている。緩効性の肥料を使用する。取水資材の発展があり、田んぼの水を汲めるということで、流失はだいぶ軽減してきていると思っている。

前回の湖沼会議の時、中学生だった。学校の先生に連れられている。前回の経験があり、そのときはこういうことをやっていたんだと、今はありがたいことだと感じている。

(講演内容まとめ 文責 穴塚の自然と歴史の会)

石岡市カーボンオフセット協議会

石岡市カーボンオフセット協議会の活動

間伐をした森林で、二酸化炭素吸収量の認定を受けました

山を手入れすることは、環境に貢献すること

↓

1,091 t (販売) → 購入希望企業 → オフセット (相殺)

(例: イベント等で発生したCO2・会社運営で発生したCO2)

山の手入れや、地元の活動の支援に使います (愛宕古遺復旧と看板設置など)

間伐の意義

手入れされていないヒノキ林

間伐と多面的機能

- 木材、燃料、工業原料などの生産
- 多様な生物多様性の確保
- 水源の涵養
- 土砂災害の防止
- 気候変動の緩和

多様な機能の維持 価値は約70万円

作業道を入れて間伐材を運び出します

森を大事にするということ

雨を、地面に貯水する力

私たちの目指すもの

- 森林を守ることで、100年後の子供たちに大事な財産を残す
- たくさんの人に、森林の保全が、いかに大事か理解してもらおう
- 間伐をして、温暖化を抑え、日本の義務を果たす (京都議定書で定めた世界への約束)
- 水源機能を向上させ、災害に強い森林を作る
- 排出権を販売し、そのお金で、山で使う (山の保全や復旧する事に使い、地域に還元)

森林面積の比較

露ヶ浦集水域	2,156km ²
森林率	18%
全国の森林率	67%
茨城県森林率	31%

露ヶ浦集水域 6,000ha

認定 NPO 法人穴塚の自然と歴史の会

-穴塚の里山- 自然と知恵と文化の絆を次世代に

わたしたち穴塚の自然と歴史の会は生物多様性と歴史の遺産に恵まれたこの関東平野有数の貴重な穴塚の里山を100年先の子ども達に受け継ぐことを目的として多様な人・団体と連携・協働した活動に取り組んでいます。

認定NPO法人 穴塚の自然と歴史の会
設立: 1989年、会員: 465名 3団体、茨城県土浦市・つくば市
〒305-0823 茨城県土浦市上土浦2-10-10
http://www.kusanogura.net/ooka/

次世代に継承

環境教育
環境教育センター
環境教育センター
環境教育センター

学習
学習
学習

対話
対話
対話

豊かな生物多様性を育む

調査
調査
調査

保全・再生
保全・再生
保全・再生

広報
広報
広報

穴塚の里山 SHIHAKUSA SATOYAMA

多様な人々と活動・活用

人と自然が活かされる共生のフィールド
里山の自然・文化・歴史的環境を未来に

法政大学・キャンパスエコロジー

大学生を対象とする自然体験活動・学習

概要

法政大学公認サークル「キャンパスエコロジーフォーラム」が毎月第4日曜日に土浦市穴塚の里山で自然保護活動を行っています。
[2002年から15年間継続している活動です]

目的

都会で学ぶ学生たちが、自然体験活動を通じて自然保護について理解を深め、自然愛を深める。
また環境保全を長年続けてきた穴塚の歴史を地域の方々との交流を通じて継承し、次世代へ伝えていく。

活動

味噌づくり体験
地域の方々とのふれあい
春の味覚祭り
収穫祭「もちつき」
石窯を使ったピザ作り
生物多様性が向上しています。

成果

学生たちが里山で活動していく中で、その地域に対して愛着がわいた学生が定期的に行われるようになることで地域活性化につながっています。人がきちんと管理し里山の生物が棲みやすい環境が維持されることにより生態系のサイクルが保たれ、生物多様性が向上しています。

サークル内には人間環境学部生が多く、大学では環境について様々な目線から学んでいます。このような考え方は学部「フィールドスタディ」というカリキュラムの目的と合致しています。一部の学生は里山での活動に大きく影響を受け、研究室で里山に関係するテーマを扱ったり、関連した分野に就職した先輩もいます。

一日の流れ 例:2018年5月

10:00 a.m. 朝礼、作業開始
始まった新人生もいたため、里山の散策を行いました。

12:00 p.m. 昼食 片付け
昼食は毎月NPOのお客さまの里山の収穫物を活かして作っていただきます。

13:30 p.m. 午後の作業開始
外來種を撤するため、釣りを行いました。また、大砲を撃ってヒシを飛ばしました。

16:00 p.m. 作業終了 終礼
集合写真の撮影です。

活動写真